



コロナ禍における包括的成長のための行政について ～初のオンライン開催の EROPA 会議 2021 に参加～

(一財)自治体国際化協会シンガポール事務所 所長補佐 藤井 達也 (愛知県派遣)

EROPA とは

EROPA (Eastern Regional Organization for Public Administration) とは、アジア・太平洋地域の経済および社会の発展に資するため、各国の行政の質の向上を図ることを目的として、1960年12月に設立された国際組織です。EROPAには3つの会員構成(国家会員・団体会員・個人会員)があり、クリアは団体会員代表として参加しました。

EROPA 会議 2021 の概要

EROPA 会議 2021 は7月30日および8月2日から4日にかけて、初のオンライン形式で開催されました。クリアもメンバーとなっている第66回執行理事会では、フィリピン人事委員会の会長が議長を務め、各専門センターにおける活動内容や、公共行政に関する討論会の様子を EROPA のホームページ上で YouTube により公開している「#TAG Dialogue」の状況などが報告されました。そのほかにも、EROPA の事務局長について、2010年より務められた Orlando S. Mercado 先生に替わり、次期事務局長を Alex B. Brillantes, Jr 先生とする提案がされ、次回開催国のネパール総務省からのプレゼンテーションも行われるなど、オフラインと変わらない活発な意見交換などが実施されました。

今年の会議のテーマは「コロナ禍における包括的成長のための行政：責任・義務・デジタル変革」であり、2日間に渡った分科会ではコロナ禍におけるさまざまな課題に対して、30ものプレゼンテーションが実施されました。日本の大学からも多数の研究者が参加しており、南海トラフ地震などに関連した行政の危機管理や、日本の地方におけるテレワーク推進政策など、身近な内容も数多く発表され、各国の専門家の知識が共有されることで、今後のアジア地域における行政サービスの更なる向上が期待されます。

初のオンライン開催での取り組み

オンラインでの国際会議参加を通して、数多くの工夫した取り組みも経験できました。

まず、従来は会期中に実施していた役員などの選挙業務を、会期前のオンライン投票形式に切り替え、会議時間の短縮などが図られておりました。また、分科会については Facebook Live で講義内容を配信し、EROPA の Facebook 上でも何度でも講義内容を視聴可能としたことで、再生も含めて約6,000回も視聴されており、コロナ禍におけるオンラインの国際会議においては、会議目的に応じて適切なオンラインツールを選択することや、オンラインの特性に合わせて会議内容を精査することが、国際会議の成功の秘訣だと感じました。



第66回執行理事会の様子



分科会の案内